

つなぐ技術で、あなたに喜びを

BUFFALO™

ピックアップ導入事例

療法士育成にタブレットを活用するためのWi-Fi環境を構築。 学校間、部門間の情報共有をリアルタイムで行える環境づくりを推進

学校法人 福岡保健学院 様

学校法人 福岡保健学院(以下、福岡保健学院)では、3D人体解剖学アプリなどの活用で学習の質を高めることを目指し、平成31年4月から小倉リハビリテーション学院の学生全員にiPadを提供することを決定。その運用に最適なWi-Fi環境の構築に、バッファローの無線LANアクセスポイント「WAPM-2133TR」を採用しました。同時に、福岡和白リハビリテーション学院にも同設備を導入。今後は運営する7校すべてに導入し、学校間、部門間の情報共有などに活用。授業への活用のみならず学校運営全体のICT強化を計画しています。



学校法人 福岡保健学院 小倉リハビリテーション学院 理学療法学科 教務副主任 藤井弘通氏(左 以下、藤井氏)、旭陽電気株式会社 ソリューション営業部 部長 山田英弘氏(右 以下、山田氏)

学校業務全般における 情報共有のためのシステム構築

福岡保健学院では、学校間、部門間での情報共有のリアルタイム化によるノウハウの共有などを目的として、平成29年にICTシステム構築プロジェクトを設立。学校運営のICT強化も視野に入れたWi-Fi導入計画を進めました。「プロジェクトでは、授業のICT化に限らず、学生募集、広報活動、学生個人情報管理など、業務全般における情報共有のためのシステム構築を検討しています。その第1段階として、授業へのタブレット活用を主目的としたWi-Fi環境の構築を検討しました。」(藤井氏)

「学生用タブレットの導入にあたっては、セルラーモデルの導入も検討しましたが、契約台数が多くなり、毎月多額の通信費がかかることがわかりました。そのため、ブロードバンド回線1契約で運用できるWi-Fiモデルを採用し、校舎の全フロアで快適に通信できるWi-Fi環境を整備することにしました。」

航空レーダーによるDFS障害を回避

販売店として担当した、旭陽電気株式会社の山田氏は、無線LANアクセスポイント、PoEスイッチにバッファロー製品を選びました。「教室では1クラス40名、講堂では100名ほどがタブレットを同時に使用されるということでしたので、トライバンドと公平通信制御で多台数同時接続に強い『WAPM-2133TR』をお勧めしました。また、本校と同時に福岡和白リハビリテーション学院でもWi-Fiを導入したのですが、福岡和白の校舎は福岡空港から約12kmと近く、さらに隣接している福岡和白病院には救急搬送用のヘリポートもあるため、航空レーダーによるDFS障害が懸念されました。本製品は、『DFS障害回避機能』を搭載していますので、その点でも安心して提案できました。」(山田氏)

「WAPM-2133TR」には、DFSによる無線LAN停止を回避するため、レーダー監視専用のアンテナが搭載されています。これを使用して干渉しない周波数を常に監視・把握し、レーダー波を検知した際に瞬時に干渉しない周波数へと自動で切り替える仕組みが「DFS障害回避機能」です。

ハイパワータイプのPoEスイッチを採用

小倉リハビリテーション学院では、4階建ての校舎の各フロアに3～8台の「WAPM-2133TR」

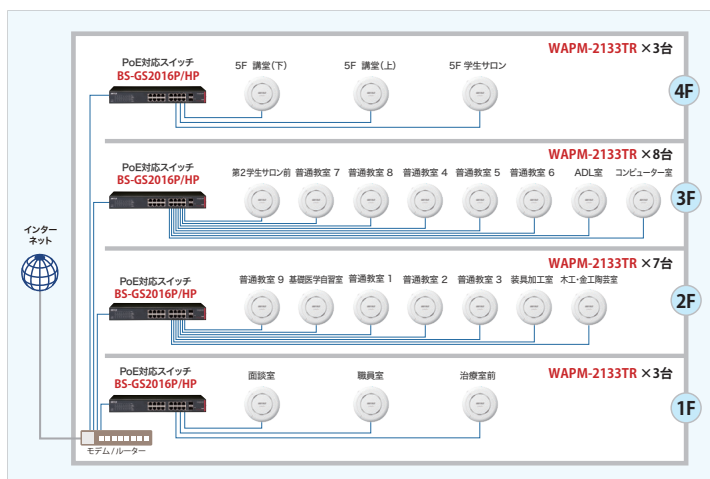
を設置。給電用のPoEスイッチには、ハイパワータイプの「BS-GS2016P/HP」を採用、スイッチの台数を最小限に抑えることができたと言います。「トライバンド仕様の『WAPM-2133TR』は、使用するバンド数が多い上に多機能なため、最大消費電力が25.5Wと比較的高めです。『BS-GS2016P/HP』は、各ポート最大30W、合計384Wの給電が可能で、今回の導入計画に最適でした。スイッチの台数を1フロアに1台、計4台に抑えることができ、施工・管理がしやすく、機器収納ボックスにすっきりと収めることができました。」(山田氏)

アプリや撮影機能の活用で、 受け身の授業から学生主体の授業に

小倉リハビリテーション学院では、平成30年7月にWi-Fi導入工事を完了。次年度の運用開始に向けて、タブレットを活用した授業の準備を進めています。「来年度から、3D人体解剖学アプリを授業に活用する予定です。3次元の人体模型を使い、自分で操作しながら学習することで、講義形式の授業と比べて、格段に理解がしやすくなります。実技の授業では、タブレットの撮影機能を活用し、自分の技術レベルを客観的に確認できるようになります。これまで受け身だった授業が学生主体に変わること、学生のモチベーションが上がり、学習意欲も高まると期待しています。」(藤井氏)

系列7校へのWi-Fi導入により、 学校運営のICT強化を推進

ICTシステム構築プロジェクトでは、今回のWi-Fi導入を、学校業務全般にも活かしていきたいと考えています。「Wi-Fiを活用することで、学校間、部門間の情報共有をリアルタイムに行えるようになります。また会議にタブレットを使うことで、書類のペーパーレス化も可能です。今後は当学院が運営する7校すべてにWi-Fiを導入し、学校運営全体のICT強化を進めていきたいと想います。」(藤井氏)



導入製品



エアステーションプロ インテリジェントモデル
11ac/n/a & 11n/g/b 同時使用
法人向け 無線LANアクセスポイント
WAPM-2133TR



レイヤー2 Giga PoEスイッチ
ハイパワーモデル
BS-GS2016P/HP

株式会社 **バッファロー**

ホームページでさらに詳しい情報を発信中

buffalo.jp/jirei



Quick!
ナンバ
の使い方

0041

検索

バッファローホームページの検索窓内に
ナンバーを打ち込み、検索ボタンをクリックしてください

※掲載されている各製品名は一般に各社の商標または登録商標です。※デザイン・仕様等は改良のため予告なしに変更する場合があります。※記載されている価格は希望小売価格です。